

県内初！市立小中学校全普通教室に一体型電子黒板を整備

市原市 GIGA スクール起動

市では、文部科学省が推進する GIGA スクール構想の動きを受けて、現在、児童生徒 1 人 1 台タブレット端末を市立全小中学校に整備しています。そのタブレット端末を効果的に活用し、また、新しい生活様式に対応した学習活動や学校行事等を実現するために、本年度 10 月から 11 月中旬にかけて、県内で初めて市立小中学校の全普通教室に一体型電子黒板を導入しています。

電子黒板を導入することで、今までの教育実践と ICT のベストミックスによる新たな学習・授業スタイルを構築していきます。

1 電子黒板の整備の目的

- ・「ここ」を示せる。授業のめあてや大切な学習内容をカラー資料や動画コンテンツを利用して教えることができ、普通の授業がより分かりやすくなる。
- ・ICT 活用の日常化が図られ、全ての授業で利活用することで、授業改善に取り組んでいくとともに、学校行事等でも活用していく。



従来の大型テレビ（50 インチ左）
と一体型電子黒板（65 インチ右）

2 整備内容

- ・市立小中学校の全普通教室に 819 台を導入
- ・一体型電子黒板（65 インチ）

※一体型電子黒板とは

大型ディスプレイに電子黒板機能が付加されたモデル。専用のペン以外にも画面上に指や手で直接タッチ操作が可能

- ・Andriod OS 内蔵、タブレット端末と同時接続、複数の児童生徒による同時書き込み機能 など



教室への電子黒板の設置の様子

3 電子黒板を利用した模擬授業を実施

日時 11月6日（金）午前9時30分～11時20分

会場 市原市立湿津小学校

備考 電子黒板メーカーELMO 社営業部 2 名が視察をします。

※取材を希望するときは、当日 8 時 30 分までに教育センター（0436-41-3338）へご連絡ください。